

本年度の学校評価（最終評価）

| | | | |
|-------------------------------|--|---|---|
| 本年度の重点目標 | 新学習指導要領が目指す「主体的に学習に取り組む態度を養う」ために、アクティブラーニング等の手法を取り入れた授業改善の研究・実践に努める。学習と部活動を両立させ、「部活動の盛んな進学校」として時代の要請と地域の信頼に応える。 | | |
| 項目(担当) | 重点目標 | 具体的方策 | 評価結果と課題 |
| 学校行事 PTA活動 (総務部) | (1)PTA活動の活性化 (2) 避難訓練の実施方法の見直し (3)特別教室からの避難経路の掲示 | (1)Webサイトを活用してPTA活動を紹介する。 (2)天候にかかわらず避難経路等の確認ができる訓練を実施する。 | (1)PTA活動への関心の高まりを感じた。 (2)近隣学校との連携を深め、防災意識を高めることができた。 (3)避難経路を掲示した。 |
| 学習指導 (教務部) | (1)生徒の能動的・協働的な授業参加 (2)成績不振、欠課超過の兆候を示す生徒への指導 (3)体験入学の充実 (4)平成29年度以降の入学者選抜への適切な対応 | (1)課題発見と問題解決型授業 (2)学校不適応生徒に関する情報共有 (3)アクティブラーニング型授業の研究 (4)体験入学実施に向けた準備 | (1)授業改善に資する研修を実施した。 (2)支援の結果複数生徒に安定の兆しが見られた。 (3)家庭学習時間を改善したい。 (3)2度の体験入学を実施できた。 (4)具体的な対応策を考えた。 |
| 進路指導 (進路指導部) | (1) 望ましい勤労観・職業観に支えられた進路指導 (2) 学習意欲の喚起 (3) 円滑な業務引き継ぎ (4) 進学実績の伸長 | (1) 将来を考えさせる機会の提供 (2) 学習できる環境を提供 (3) 業務の共同化 (4) 効果的であった取り組みの検証 | (1) 適切な時期に実施できた。 (2) 達成度の高い場を提供できたが、課題も残った。 (3) 連携して業務を遂行できた。 (4) 現時点では判断できない。 |
| 生徒指導 (生徒指導部) | (1)情報モラル教育の充実。 (2)遅刻者数の減少。 (3)身だしなみ指導。 (4)教育相談の充実。 | (1)集会等での講話。 (2)遅刻過多者への段階的な指導。 (3)学年会との連携。 (4)教育相談室の広報に努める。 | (1)啓発を計画的に実施できた。 (2)昨年度と比べて増加した。 (3)学年会と連携し指導できた。 (4)スクリーンと連携できた。 |
| 生徒会活動 (生徒会部) | (1)生徒会行事のサポート。 (2)議会の活性化。 (3)部活動の活性化。 | (1)執行部と顧問との密な連携。 (2)執行部への働き掛け。 (3)部長会議、予定表の活用。 | (1)生徒の自主的な活動がみられた。 (2)活性化のため、さらなる指導の工夫が必要である。 (3)部顧問会の活用も考えたい。 |
| 学校保健 清掃活動 環境整備 (保健部) | (1)防げるケガを減らす。 (2)清掃状況の一層の改善。 (3)ゴミの総排出量の削減。 (4)主体的な保健委員会活動の計画・実現。 | (1)部顧問・体育科職員への、ケガ発生状況の丁寧な伝達。 (2)清掃状況や道具の使い方についての個別アドバイス。 (3)古紙回収の一層の促進。 (4)保健委員の明確な役割分担。 | (1)ケガの件数がやや減少した。 (2)比較的良好な状態を保てた。 (3)除草ゴミの校内処理により、総排出量がかなり減少した。 (4)学校保健委員会で、保健委員による映像発表を実現できた。 |
| 読書活動 図書館活動 (図書館部) | (1)読書活動の向上と充実 (2)視聴覚資料の活用 | (1)広報活動による読書案内と1年生向けのガイダンスの実施 (2)LT等での視聴覚教室の利用促進と資料の整備、充実 | (1)計画通り進めることが出来た。 (2)施設の整備が利用回数向上につながらなかった。 |
| 1年学年会 | (1)学習と部活動を両立した、けじめある生活。 (2)高い進路意識に基づいた類型選択。 | (1)下校時間を守らせ、家庭学習時間を十分確保させる。 (2)合同LT、HRLT、個別面談等を効果的に利用する。 | (1)宿題は消化する、という意識の生徒が多く、自発的学習を習慣化させることが今後の課題。 (2)まだ先のことである、という意識の払拭が課題である。 |
| 2年学年会 | (1)学校生活の充実 (2)学習時間の確保と効果的な学習方法の獲得。 (3)修学旅行の安全な実施。 | (1)学校行事、部活動に精一杯打ち込める環境を作る。 (2)適切な教科指導と適切な課題の指示 (3) 計画的かつ十分な事前指導。 | (1)積極的な活動が多く見られた。 (2)徐々に進路実現を意識し始めた。 (3)円滑に行うことができた。 |
| 3年学年会 | (1)進路目標の実現。 (2)主体的な学習と部活動や体育祭との両立。 | (1)個人面談やHR活動等の中で適切な指導し、最後まで諦めない姿勢をつくる。 (2)授業の充実や学習会などを通して、主体的に学習させる。 | (1)多くの者がしっかりと学習ができ進路目標を達成できた。 (2)部活動や体育祭との切り替えもでき、主体的な学習習慣を確立できた。 |
| 総合評価 | 本年度の重点目標であった「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための授業改善の研究・実践については、授業見学等の研修を実施し意見交換をするなど積極的に行われたが、今後は進路実現のための実力養成につながっているかの検証が必要である。このことは、「部活動の盛んな進学校」としての本校の使命と課題にもつながる事であり、来年度の重点目標となると思われる。 | | |

